

ダイキン工業株式会社 様

ハードウェア系技術者へ柔軟な教育システムを提供することで
AIを一般教養として身に付けさせていく

課題

- これまでハードウェアの性能向上に注力してきた製造業なので、ソフトウェア系の技術者が不足している。採用が難しく社内育成が必要。
- 社内でAI人材育成の取組をしているが、受講人数に限りがあることや時間的負担の大きさから、希望者が十分に参加できていない状況にある。

効果

- 初心者から熟練者まで対応できる幅広いコンテンツがある。
- 細かい1項目であれば10分で理解できるので、空き時間でコツコツ学習できる。
- 教育環境・コンテンツの整備、運営の手間がかからず、低コストで育成できる。

お客様プロフィール

ダイキン工業株式会社



業種	機械製造業
事業内容	空調・冷凍機、化学、油機、特機、電子システムの製造・販売
従業員数	7,036名(単独)
Web	https://www.daikin.co.jp

世界No.1の空調事業を持つグローバルカンパニー ダイキン株式会社

空調事業を中心に、世界150カ国以上で事業を展開しているグローバル企業、ダイキン工業株式会社（以下、ダイキン）様。空調事業における売上高は世界第1位を誇っており、揺るぎない地位を築いています。2015年11月に大学をはじめとした外部機関と技術連携を行うオープンイノベーション拠点「TIC」（テクノロジー・イノベーション・センター）を新たに開設しています。

今回は、ダイキンがTICでソフトウェア人材の育成に力を入れている理由、AI技術を社内へ浸透させ、活用する方法について、同社テクノロジー・イノベーションセンター 戦略室 技術戦略担当の近藤 玲 様にお聞きしました。



テクノロジー・イノベーションセンター 戦略室 技術戦略担当 近藤 玲 様

なぜ世界 No.1 エアコンメーカーが ソフトウェア人材の育成に取り組むのか？

近藤様)TICは2015年に、それまであった研究所を統合し、技術者が集まる技術開発のコア拠点としてソフトウェア人材を育てていく組織です。現状として、弊社売上の9割弱は空調事業で構成されており、これまでは機器を販売する「モノ売り」主体で事業を続けてきました。機械や電機の技術・技術者はたくさん保有していますが、最近は製品の性能だけでは戦えず、モノ売り以上の「コト売り」ともいべきソリューションの重要性が高まってきています。単独の技術向上だけではなく、様々な技術の掛け合わせやソリューションが必要になっているわけです。それは、弊社がこれまで続けてきたスタイルでは通用しなくなるという強い危機感があります。

今、世界ではITやデータを活用した新たなサービスやビジネスモデルが数多く立ち上がっています。そこで弊社でもAIやIoTといった最新の技術を使いこなしていかなければ、グローバル競争に勝てないという危機感を強く持っています。しかし、弊社は長らく製造業だけを中心に営んできたため、ハードウェア系技術者は多数在籍しているものの、ソフトウェア系技術者は不足しています。市場環境を鑑みると、採用での優秀なソフトウェア系技術者獲得が難しいという側面もあり、社内で育成する道を模索しています。

育成の取り組みとして、2017年12月からはAI分野の技術開発や事業開発をになう人材を育成する社内講座「ダイキン情報技術大学」を開講するに至っています。これは、社内の幅広い部門から選抜された社員が、9ヵ月間のプログラムを受講してもらうものとなっています。受講者は既存社員と新卒社員とで構成され、既存社員には文系学部出身者も多い中で順調に学習し、成長しています。



受講者のPCだけあれば良いので、大人数向けの準備も楽しく。 社員がいつでもどこでも学習できる、柔軟な教育環境を提供できました。

テクノロジー・イノベーションセンター 戦略室 技術戦略担当 近藤 玲 様

今までの育成の課題は、 受講者の時間的負担が大きいこと

近藤様) ただ、この「ダイキン情報技術大学」にも課題があり、既存社員でも受講に業務時間の3~4割が割かれてしまうのです。日々業務が忙しく、それだけの工数をかけることは難しい社員がほとんどです。私自身「ダイキン情報技術大学」を受講したいのですが、多くの社員が気軽に受講できるものではありません。とはいえ、やはり数多くの社員にAIを学んで欲しい。そこで、毎日少しずつでもいいからコツコツと続けられる教育を探していたのです。



Aidemy Business の導入で、 柔軟かつ低コストに AI 人材育成を始められる

近藤様) そんな時に Aidemy Business と出会いました。初心者から AI スキルを既に持つ者まで幅広く対応できる教育プログラムであることに加え、時間や場所に囚われず自由に受講できることが魅力的でした。

ちなみに私自身、Aidemy Business を使っています。一つひとつのスキルが細かく整理されてまとまっているので、大変わかりやすいです。5分10分あれば、細かい1項目は学べるので時間を有効活用できます。あまり時間を取れない生活をしているのですが、それでも帰宅してから自宅で半分趣味として学習を進めることができます。

また、大人数が同時に学べるライセンス数でも、低コストというところもポイントですね。一般的に、教育には専任の講師が必要だったり、運営する手間があったりで、多額のコストがかかります。それを考えると Aidemy Business のコストは驚きです。

そうして、「ダイキン情報技術大学」の取組みを社内で一般化して拡大するかたちで、Aidemy Business を導入しました。

Aidemy Business を活用し、 AIを技術者の一般教養にしていく

近藤様) 今後は Aidemy Business を「ダイキン情報技術大学」の講義で使用したり、それには参加できないが、自主的にAIを学びたいという社員に対して、Aidemy Business を活用していただきたいですね。社内で Aidemy Business の利用者を増やしていくことで、AIが技術者の一般教養になってくればという思いがあります。

この一般教養とは、例えば技術系の社員であれば、ハードウェア技術者がAIの要件定義や発注ができたり、納品されたソフトウェアを問題ないか確認するために必要なAIに関する技術知識を持っているといった状態です。ハードウェアなどアプリケーション側に深い知見を持つ技術者が、ソフトウェアも器用に使いこなせるようになっているダイキンを目指して、Aidemy Business を活用していきたいと思います。

今後の AI とソフトウェア活用の展望

近藤様) 弊社のビジョンである「健康で快適な空気・空間の創造」にはソフトウェア技術を活用できる場面がたくさんあります。そのほか、空調機などのハードウェアについても、故障予知機能を搭載することで、お客様の利便性を向上させられると思います。

また弊社では全世界に90箇所以上の生産拠点がありますので、AIをはじめとしたソフトウェア技術を活用することで、生産ラインや部品調達のスマート化にも取り組んでいくことができると考えています。

お問い合わせ・資料請求・ご相談はこちら

✉ support@aidemy.co.jp

☎ 03-6868-0998 (受付時間 平日10:00 - 17:00)

🌐 <https://business.aidemy.net>



株式会社アイデミー

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 1-1-16
山荘ビル 3F